

## そこに愛はあるんか!?

消費者金融のアイフルのコマーシャルで、大地真央さんが叫ばれている言葉「そこに愛はあるんか？」この言葉をベースに、コンサルティングの立ち位置を考えていますと、この言葉は正に究極の言葉、審判の言葉ではないかと感じます。

何は無くとも、そこに愛が在るのか無いのかで物事は決着するように思います。

ビジネスにおいてもプライベートにおいても、全てこの問いの前では、真実のみで審判されます。どのように取り繕っても、この言葉による問いに対しては、嘘はつけないように思います。

- ・ビジネスの結果報告に対して、「そこに愛はあるんか？」
- ・子供や親への行為に対して、「そこに愛はあるんか？」
- ・政治家が国民に対して、「そこに愛はあるんか？」
- ・先生が生徒に対して、「そこに愛はあるんか？」
- ・上司が部下に対して、「そこに愛はあるんか？」
- ・先輩が後輩に対して、「そこに愛はあるんか？」
- ・社長が社員に対して、「そこに愛はあるんか？」
- ・国家の運営に対して、「そこに愛はあるんか？」
- ・外国への援助に対して、「そこに愛はあるんか？」
- ・医者が患者に対して、「そこに愛はあるんか？」
- ・先進国が途上国に対して、「そこに愛はあるんか？」
- ・夫（妻）が妻（夫）に対して、「そこに愛はあるんか？」……。



「愛」とは「エゴ」の対極にある言葉のように思います。

例えば日本のODAですが、当時の政権政党が、裏金をバックしてもらっていたとの疑惑もあるにはありますが、日本の援助は愛があったと思います。それが感謝として伝わってきています。一方中国のスリランカやアフリカの援助に関しては、援助国に金銭を援助すると称して、結果的に中国人労働者を大量に送り出して資金回収し、借金だけを当事国に負わせ、返済不能の見返りに港湾の99年借款により支配するなど、エゴ丸出しの行為です。いま世界が中国に対して反旗を翻しているのも、エゴ丸出しで愛がないところに原因の一端があるようです。

コロナ後は『そこに愛はあるんか？』というフィルターを持って、物事を見ていく時代が到来していくでしょう。そして、嘘は必ずバレる時代がやってきます。

もし嘘で固めた行動をしていて不安に駆られている状態なら、少しずつ真実に舵切をして、徐々に嘘を排除していくことです。

- ・「バレた後の行動が明暗を分ける」
- ・「過ちでは改むるに憚ることなかれ」
- ・「周囲からのリスペクトと感謝を得る人や組織が成長し発展していく」

愛のある行動が、自身も周囲も成長を促進してくれるようです！

3月19日の遅くに、札幌出張から帰ってきて、3時間ほど眠ったところで、潜在意識からのメッセージを受け取りました。それをタブレットに打ち込んで、また眠りに落ちました。私の場合、体が疲弊し、脳だけが活性化している状態の中で、僅かの睡眠の後にメッセージを受け取ることが多いようです。

ここからは、私の辿り着いた世界の戯言（ざれごと）と思って軽く流してくださいね！

## 魂、心、肉体は三位一体

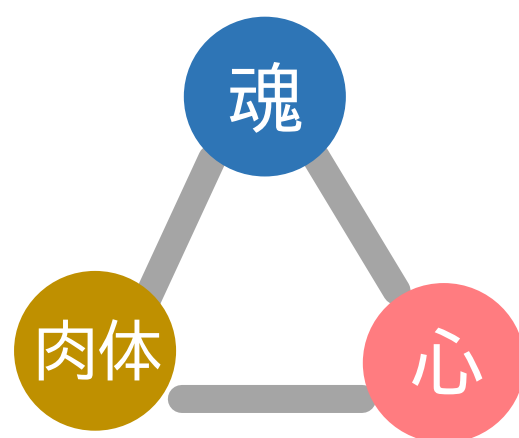
魂は、サムシンググレート(神？：村上和雄先生 命の暗号)から悲しみ・苦しみ・喜びの世界である、三次元世界に送り出されてきた勇氣ある存在。厳しい世界で学んだものを持って帰ることがミッションである。

魂はこの世界で成長し、学んでいく存在。

三次元世界の中では物質世界でもあり、「心」と「肉体」の結びつきは非常に強くなるため、我々の生活する現代社会において「魂」を意識する時間は非常に少ない状態である。

ヨガの行者、仙人、修験者等は、この魂との結びつき、魂の成長、魂の発動を求めた人々のようなものである。彼らは修行を通して、「自我」を滅することを修得し、魂を発動させることができるようになった存在らしい。そして亡くなる前に多くの学びを得てあちら側に持って帰ることができている存在。

現代社会に生きる我々も、日常において、魂=真我 と向かい合うことが可能になりつつある。その方法は呼吸、脳波、自分以外の対象である人、自然、物、現象 にフォーカスし、意識を飛ばすことによって、自分を取り巻く「自我」が減少し、隙間・空間が出来、その隙間や空間に、魂の発動が見られ、何処からかのメッセージを受け取るようになるのだそうです。それがどこから来るのかはまだ分かりませんが、自分の潜在意識からなのか、集合無意識のエネルギー体からなのか、守護霊様からのメッセージなのか、はたまた天からのメッセージなのか。



<3つのバランスが大事>

ただ私の場合は、そのメッセージはほぼ100%今の自分にとって必要なことであつたり、求めている答えであつたりしていますので、有難いメッセージと受け止めています。

- ・肉体=車
- ・心=三次元世界のドライバー(この世限り)
- ・魂=次元を超えたドライバー(永遠)

私の場合は、車である肉体が疲労し、休憩段階に入り、運転してきたドライバーである心も、一休みしようかという状態になって、ようやく、そこに隙間ができ、魂との繋がりができるようです。

普段からもっと意識して繋がれるようになると、遠回り人生でなく、最短距離で進めるのですが、まだまだ修行が足りないようです。

過去世を思い出すことによって、実際に輪廻転生が存在することの理解は進んできましたが、それがどのような形や法則性で起こるのかはまだ全く分かりません。ただ漠然と理解できることは、輪廻転生の目的とは、「(永遠の)魂」の成長を促すことであるということです。その目的のために、今成すべきことは何かと考えてみると、冒頭申し上げました、「そこに愛はあるか？」との問いに対して、「そこに愛は在ります」と堂々と応えることのできる行為を実践していくことのように思います。

愛のある行動の実践が、我々にとって最も簡単な魂の成長手段のようです。

行動に移す前に一言、「そこに愛はあるか？」を自問自答していただき、愛があることを確認してから行動に移す。これを実行していくことで、自分を変え、周囲を変え、組織を変え、自治体を変え、我が国を変え、世界を変えていけるのではないかと思います。

明日から少しずつ実践していきませんか！